

家庭用燃料電池「エネファーム」

累計稼働台数 1,000 台を達成

2016 年 8 月 23 日
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、7 月末をもって、家庭用燃料電池「エネファーム」の累計稼働台数 1,000 台^{※1}を達成いたしました。

「エネファーム」は、自宅で“電気とお湯を同時につくる”新たなエネルギーシステムで、発電時に発生する熱でお湯をつくるためエネルギーをムダなく使うことができます。さらに、分散型エネルギーシステムとして、高い省エネ性とCO₂削減を実現できるとともに、社会的ニーズが高まっているエネルギーセキュリティ向上や電力ピークカットなどへ貢献できることから、国のエネルギー政策である「3E+S」（「安定供給」「経済効率性の向上」「環境への適合」+「安全性」）の実現に寄与できます。

北陸ガスでは、2011 年 6 月に「エネファーム」の販売を開始して以来、住宅メーカーさまやご家庭のお客さまに販売活動を展開し、新築住宅を中心に採用いただき、さらに既存住宅のお客さまにも導入いただいた結果、約 5 年で累計稼働台数 1,000 台を達成することができました。

1,000 台の稼働によるCO₂削減効果は年間約 1,300 トン^{※2}となり、杉の木約 9 万本^{※3}の植林に相当します。

当社は、今後も「エネファーム」の普及促進に取り組むとともに、お客さまの快適な暮らしの実現と環境負荷の低減、エネルギーセキュリティの向上などに貢献してまいります。

※1 7 月末時点の累計稼働台数 1,035 台

※2 試算条件は以下のとおり

- ・戸建 4 人家族を想定。ガス温水床暖房（リビング・ダイニング・キッチン）、ガス温水浴室暖房乾燥機（ミスト機能付）、ガスコンロ、電気エアコンを使用
- ・従来システムは、潜熱回収型ガス給湯暖房熱源機を使用
- ・CO₂ 排出係数：電気 0.66kg-CO₂/kWh（地球温暖化対策計画の 2030 年度火力平均係数）、ガス 0.0513kg-CO₂/MJ（北陸ガス㈱新潟地区データ）

※3 杉の木の CO₂ 吸収量：13.9kg-CO₂/本・年（50 年杉の場合）（「林業白書」平成 9 年より）

以 上

<お問い合わせ先>

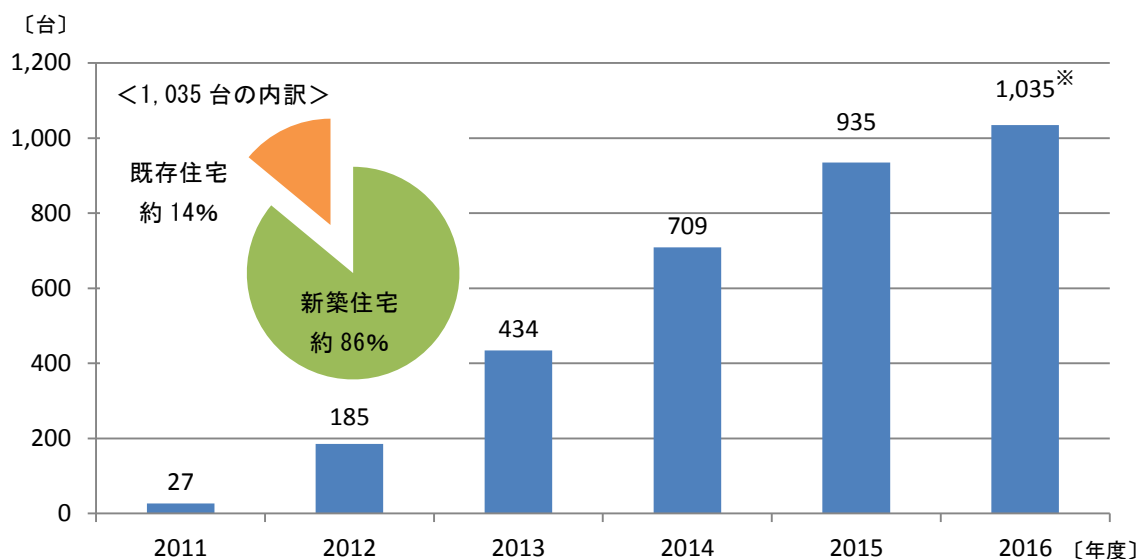
北陸ガス株式会社

企画グループ 担当 星野

TEL：025-245-2214

<ご参考>

●「エネファーム」累計稼働台数の推移



※2016年7月末実績

●「エネファーム」の特徴

各家庭に送られる都市ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気は家庭内で利用し、その際に出る熱も給湯に利用する環境に優しいエネルギーシステムです。従来システムと比べ、年間のCO₂排出量を約1,300kg^{※2}削減できます。なお、「エネファーム」には自立運転機能が搭載されており、停電時でも発電中であれば、運転を継続いたします。



本体



浴室リモコン



台所リモコン

性能	発電出力	250~700W	
	効率	総合効率 (LHV/HHV)	95.0%/86.0%
		発電効率 (LHV/HHV)	39.0%/35.3%
	自立運転時最大供給電力	350W ※自立切換機 [※] タス700 (オプション品) 取付時は700Wとなります。	
寸法	貯湯タンク容量 (貯湯温度)	200リットル (約60°C)	
	燃料電池発電ユニット (mm)	高さ1000×幅780×奥行300	
	排熱利用給湯暖房ユニット (mm)	高さ1755×幅750×奥行440	
本体+標準リモコンセット 標準価格 (税抜) (設置工事費別)		1,900,000円	

● CO₂削減量のイメージ

[出展：一般財団法人 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」(2012.04)]

CO ₂ 削減行動	年間CO ₂ 削減量
エネファーム	-1,300kg/年 ^{※2}
アイドリングストップを心がける	-40kg/年
シャワーの使用を1分間減らす	-29kg/年